

令和8年度着手

県 営 ^{にや}若 ^{こう}王 ^じ子 ^{いけ}池 地 区
緊急防災等工事計画書

(防 災 ダ ム 事 業)

愛 知 県

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土地利用の状況	4
4.	土地所有の状況(略)	
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
第 4 節	道 路 概 況	7

第 5 節	地域農業の概況	7
1.	産業別就業人口	7
2.	経営耕地広狭別農業経営体数	8
3.	主要家畜頭数	8
4.	主要作物作付状況	9
5.	農業の動向	10
第 6 節	地域環境の概況	11
第 4 章	一 般 計 画	12
第 1 節	事業計画の要旨	12
1.	要 旨	12
2.	事業別面積	12
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	12
第 3 節	用 水 計 画	12
第 4 節	排 水 計 画	12
第 5 節	道 路 計 画	12
第 6 節	農用地造成計画	12
第 7 節	洪水調整計画	12
第 8 節	干 拓 計 画	12
第 9 節	農用地整備計画	12

第10節	老朽ため池改修計画	13
1.	洪水吐改修計画	13
2.	堤体補強計画	13
3.	取水施設改修計画	13
第5章	主要工事計画	14
第1節	用水施設	14
第2節	排水施設	14
第3節	道路及び索道	14
第4節	農用地造成	14
第5節	洪水調整施設	14
第6節	干拓施設	14
第7節	農用地整備施設	14
第8節	老朽ため池改修施設	14
1.	貯水池	14
2.	堤体補強施設	15

第6章	附帯工事計画	15
第7章	工事の着手及び 完了の予定時期	15
第8章	環境との調和への配慮	16
第9章	管理の要領	16
第10章	換地計画の概要	16
第11章	事業費の総額及び内訳	16
第12章	効用	17
第13章	関連する事業	18
第14章	現況・計画平面図	18

第 1 章 目 的

若王子池は豊明市北部の丘陵地帯に位置し、農地92.2haに用水を供給する役割を担っている。本地区の営農は、水田では水稻を中心に、一部で裏作として小麦が栽培されている。また、普通畑ではナスなどの野菜栽培が行われている。

豊明市は、東海地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。

昭和46年度から昭和48年度にかけて、老朽ため池等整備事業で堤体、洪水吐及び取水施設が改修されたが、令和5年度に耐震点検を行った結果、堤体の耐震性不足が確認された。また、令和7年度に行った調査の結果、緊急放流能力不足が判明した。

このため、堤体補強、緊急放流施設の新設を実施することにより、ため池決壊による農地、農業用施設、人家等への被害を未然に防止することを目的とする。

第 2 章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地域
防災ダム事業	豊明市

第2節 地 積

(令和 7 年 7 月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
防災ダム事業	豊明市	77.1	15.1	-	-	-	92.2	R5年度実施の受益面積調査結果
	計	77.1	15.1	-	-	-	92.2	
合計		77.1	15.1	-	-	-	92.2	

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(令和 7 年 10 月現在) (第 3 表－ 1)

観 測 所 名	名古屋地方气象台	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観 測 期 間	平成 3 年～令和 2 年	4 月～ 9 月	10 月～ 3 月	又は平均	
平 均 気 温 (℃)		22. 8	9. 7	16. 2	
降 水 量	平 均 (mm)	1, 047	532	1, 579	
	基 準 年 (mm)	-	-	-	
降 水 日 数	平 均 (日)	62	42	104	
	基 準 年 (日)	-	-	-	
根 雪 期 間		- 日間			
無 霜 期 間		3 月 22 日 ～ 11 月 29 日 253 日間			
最 多 風 向		北北西	最大風速	37. 0 m/s	最多風向発生時期 9 月～ 5 月 最大風速発生年月日 昭和 34 年 9 月 26 日

2. 特殊気象

(第 3 表－ 2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
名古屋地方气象台	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	
観 測 期 間																
明治 23 年～令和 6 年																
最 大 日 雨 量 (mm)	428. 0	H12. 9. 11	1/1000 以下	240. 1	M29. 9. 9	1/91	217. 5	H3. 9. 19	1/48	213. 2	M29. 9. 8	1/42	202. 0	S46. 8. 30	1/30	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	97. 0	H12. 9. 11	1/102	92. 0	T8. 7. 18	1/74	84. 0	H20. 8. 29	1/44	82. 0	S46. 9. 26	1/39	76. 0	S20. 9. 11	1/26	
最 大 4 時 間 雨 量 (mm)	239. 0	H12. 9. 11 18:00～	1/1000 以下	145. 0	H20. 8. 28 23:00～	1/48	144. 5	H3. 9. 19 4:00～	1/47	142. 2	T8. 7. 18 16:00～	1/43	131. 4	S10. 10. 27 7:00～	1/27	
最 大 連 続 雨 量 (mm)	762. 3	M29. 9. 4～ 9. 12	1/1000 以下	566. 5	H12. 9. 11～ 9. 12	1/164	455. 3	S20. 10. 1～ 10. 11	1/41	445. 3	M38. 6. 10～ 6. 28	1/36	426. 0	S51. 9. 6～ 9. 14	1/28	
最大連続干天日数 (日)	23	S52. 10. 9～ 10. 31	1/1000 以下	18	H7. 7. 23～ 8. 9	1/140	17	S24. 8. 1～ 8. 17	1/75	17	S30. 10. 30 ～11. 15	1/75	16	S14. 12. 15 ～12. 30	1/41	同率第 5 位は欄 外に記載

※第 5 位と同じ連続干天日数 S20. 7. 26～8. 10 、 S48. 7. 5～7. 20

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(令和 7 年 7 月現在) (第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20°以上	計	最高	最低	
										8° ～10°	10° ～15°	計						
防災ダム事業	面積（ha）	－	77.1	－	－	－	77.1	15.1	－	－	－	－	－	－	15.1	26.5	8.4	
	比率（％）	－	100.0	－	－	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0			
合計	面積（ha）	－	77.1	－	－	－	77.1	15.1	－	－	－	－	－	－	15.1	26.5	8.4	
	比率（％）	－	100.0	－	－	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0			

(第4表-1-2)

土壌統(区)名	項目	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)			備考	
		土壌断面							堆積様式	母材	事業名				
		色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層	防災ダム事業			計
						表土	下層土								
						一層	二層	三層							
山古志		暗オリーブ灰	なし	あり	—	粘質	粘質	—	0～50cmに グライ層あり	洪積世 堆積	非固結 水成岩	11.1		11.1	水田区分
加茂		灰	なし	なし	膜状、糸根状、 雲状 班	壤質	壤質	壤質	0～25cm、85cm 以上にグライ層	水積	非固結 水成岩	18.4		18.4	水田区分
田川		灰	なし	なし	膜状、糸根状、 雲状、管状 班	粘質	強粘質	強粘質	9 cm以上に グライ層あり	水積	非固結 水成岩	37.8		37.8	水田区分
竜北		灰オリーブ	なし	あり	膜状、糸根状 班	粘質	粘質	—	14cm以上に グライ層あり	水積	非固結 水成岩	24.9		24.9	水田区分
計												92.2		92.2	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和 7 年 7 月現在) (第4表－3)

事業名	市町村名	土地利用別	耕地					原野	山林	採草放牧地	その他	計	備考
			水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地の (ha)					
防災ダム事業	豊明市		77.1	15.1	－	－	－	－	－	－	－	92.2	
	計		77.1	15.1	－	－	－	－	－	－	－	92.2	

第3節 水利状況

1. 用水状況

若王子池の主な水源は雨水であり、パイプラインによる自然流下方式で受益地をかんがいしている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満										
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S		
防災ダム事業	貯水池	-	-	-	-	1	92.2	1	92.2	-	-	-	-	1	0.834	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	1	92.2	1	92.2	-	-	-	-	1	0.834	
合計		-	-	-	-	1	92.2	1	92.2	-	-	-	-	1	0.834	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
防災ダム事業	貯水池	若王子池	92.2	堤体工 (傾斜遮水型)	堤高H=8.5m 堤長L=361.5m	昭和48年	堤体の耐震性不足 緊急放流能力不足	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	
	計	-	92.2	-	-	-	-	
合計		-	92.2	-	-	-	-	

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)							備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	農漁家(建物)	公共施設	家屋その他	計	
防災ダム事業	83.4	23.2	85.7	192.3	182,487	342,091	634,136	-	361,874	5,533,870	7,054,458	
計	83.4	23.2	85.7	192.3	182,487	342,091	634,136	-	361,874	5,533,870	7,054,458	

2. 排水状況 該当なし

3. 河川状況 該当なし

第4節 道路概況

本地区周辺の道路網は、主要地方道瀬戸大府東海線を中心に市道、農道が整備されており、交通アクセスに恵まれている。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 郵便業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
豊明市	32,742	338	-	1	1	2,031	9,965	111	1,709	4,367	461	476	5,375	687	7,220	令和2年 国勢調査
計	32,742	338	-	1	1	2,031	9,965	111	1,709	4,367	461	476	5,375	687	7,220	
比率 (%)	100.0	1.1	-	0.0	0.0	6.2	30.4	0.3	5.2	13.3	1.4	1.5	16.4	2.1	22.1	

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

市町村名	区分	農業 経営 体数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）										1 経営体当たり平均農用地面積（ha）							備 考
			0.3ha 未満	0.3 ～	0.5 ～	1.0 ～	1.5 ～	2.0 ～	3.0 ～	5.0 ～	10.0 ～	20.0 ha 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計		
				0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0									
豊明市		241	8	80	103	34	8	4	1	1	－	1	0.9	0.4	0.3	1.6	2.7	4.3		
計		241	8	80	103	34	8	4	1	1	－	1	0.9	0.4	0.3	1.6	2.7	4.3		
比率(%)		100.0	3.3	33.2	42.8	14.1	3.4	1.7	0.4	0.4	－	0.4	20.9	9.3	7.0	－	62.8	100.0		

(出典：2020年農林業センサス)

3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項 目	主 要 家 畜							備考	
		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		家 き ん		
		数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)		経営体数 (経営体)
豊明市		X	2	-	-	-	-	X	2	
計		X	2	-	-	-	-	X	2	
100経営体 当 り 数 量 (頭、100羽)		X		-		-		X		
飼養経営体数 割合 (%)		-		-		-		-		

X: 秘密保護上統計数値が公表されていないもの - : 事実のないもの

(出典：2020年農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名	豊明市	計	作付割合 (%)	備 考
総耕地面積 (ha) ※	479	479		
区 分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		※総耕地面積は2020年農林業センサスに情報がないため、第67次東海農林水産統計年報
水 稻	X	X	X	
麦 類	20	20	8.9	
雑 穀	X	X	X	
い も 類	1	1	0.4	
豆 類	16	16	7.1	
工 芸 作 物	X	X	X	
野 菜 類	X	X	X	
果 樹 類	14	14	6.3	
花 き 類 ・ 花 木	5	5	2.2	
そ の 他 の 作 物	X	X	X	
計	224	224	(100)	

X:秘密保護上統計数値が公表されていないもの -:事実のないもの

(出典:2020年農林業センサス)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする)	農業経営体数	83	63	耕 地	99	89	水 稻	117	X	乳用牛	X	X	農振整備計画 昭和46年9月6日	A：令和2年 (2020年) B：平成27年 (2015年) C：平成22年 (2010年) X：秘密保護上 統計数値が公表されていないもの。 －：事実のないもの。
	個人経営体数	83	62	田	104	83	麦 類	X	X	肉用牛	－	－		
	団体経営体 (法人) 数	100	83	畑	84	112	果 樹	X	82	豚	－	－		
	団体経営体 (非法人) 数	－	50							家きん	X	X		
変化の理由	農業従事者の減少、高齢化により経営体は減少傾向にある。			農業従事者の減少、農地の転用などにより耕地、田がともに減少傾向にある。畑は営農形態の変化等により近年増加傾向である。			統計数値の公表が少ないため、動向の把握が困難である。果樹は農業従事者の減少、農地の転用などにより減少傾向にある。			統計数値が公表されていないため、動向の把握が困難である。				

(出典：2020年農林業センサス、2015年農林業センサス、2010年世界農林業センサス)

第6節 地域環境の概況

豊明市は、名古屋市の東に隣接し、尾張地方と西三河地方を分ける境川沿いに位置しており、名古屋市のほか、刈谷市、大府市及び愛知郡東郷町の三市一町と接している。

気候は太平洋型気候(表日本型)に属し、年平均気温は16℃前後で比較的温暖といえるが、夏と冬の温度差が大きい。年間の降雨量は過去の平均で1,500mm前後である。

市内には勅使池、若王子池を始めとしたため池が39余りあり、そのうち農業用ため池は大小24ヶ所程度で、これらの多くはかんがいの目的で人工的に築かれたものである。

また、丘陵地と段丘地帯が接する付近を中心に、かつていたところで湧水があった。しかし、著しく開発が進み、湧水の場所は減少の一途をたどっていて、現在では沓掛町の大狭間や同町若王子池周辺などに局地的にみられるのみとなっている。湧水地帯の近くには、ハッチョウトンボなどの湿地帯を好む昆虫類や水生昆虫、ナガバノイシモチソウなどの動植物が生育・生息し、良好な自然環境の指標となっている。

このように、本市は北東部から南西部にかけての丘陵地やため池、湧水地などが残されており、名古屋市といった大都市に隣接する市町村としては、豊かな自然が残されている。

一方で、上記のような湧水地の減少のほか、区画整理事業による宅地開発などにより農地の減少が目立つようになった。このため、平成18年度においては兼業農家が全体の95%以上を占め、ほとんどの農家が農業外収入に依存しており、後継者問題、担い手農家の減少など、農業振興については困難な問題が生じている。

「田園環境整備マスタープラン（豊明市）」から引用

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

若王子池は、豊明市に位置する受益農地92.2haにかんがい用水を供給する農業用ため池として地域農業の重要な役割を果たしているが、令和5年度に耐震診断を行った結果、豪雨時における堤体の耐震性不足が確認された。また、令和7年度に行った調査の結果、緊急放流能力不足が判明した。このため、堤体補強、緊急放流施設の新設を行い、ため池の決壊による被害を未然に防止し、農業経営と民生の安定を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	防災ダム事業												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
地震対策	77.1	15.1	-	-	-	92.2	-	-	-	-	-	-	92.2	
計	77.1	15.1	-	-	-	92.2	-	-	-	-	-	-	92.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画 該当なし

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5節 道路計画 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調整計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐工改修計画

該当なし

2. 堤体補強計画

既設堤体下流部の耐震性が不足していることから、堤体下流側で水平ドレーン工法を行う。

3. 取水施設改修計画

既設の施設では、緊急放流能力が不足することから、緊急放流施設の新設を行う。

第 5 章 主要工事計画

第 1 節	用水施設	該当なし
第 2 節	排水施設	該当なし
第 3 節	道路及び索道	該当なし
第 4 節	農用地造成	該当なし
第 5 節	洪水調整施設	該当なし
第 6 節	干拓施設	該当なし
第 7 節	農用地整備施設	該当なし

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	若王子池				位置	愛知県豊明市			
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積(千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量(千m ³)	備考	
	傾斜遮水型	2.47	8.5	361.5	109.8	7.0	500.0		
洪水吐	型式	洪水量(m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式		取水量(m ³ /s)	備考
	越流型	46.9	B=15.0	既設利用		取水孔	φ 500×4		
緊急放流施設工	型式		緊急放流量 (m3/s)	備考		斜樋管	φ 600	0.834	既設利用
	緊急放流孔 φ 900×1連 緊急放流管 φ 1000×1連		3.112	新設		底樋管	φ 800		

2. 堤体補強施設

(1) 地震対策工

堤体下流側で水平ドレーン工法を行い、堤体の耐震性を確保する。

(2) 取水施設改修工事

該当なし

(3) 漏水防止工

該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工 期

着 手 令和 8 年度

完了予定 令和 11 年度 (予定)

2. 工事の年度割合予定

年 度 工 種	令和 8 年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
測量・実施設計					
堤体工					
緊急放流施設工					
仮設工					

第 8 章 環境との調和への配慮

(1) 配慮の対象

【景観】

若王子池は、尾張地方と西三河地方を分ける境川沿いに位置する農業用ため池であり、田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」に位置付けられている。水際のヨシ群落周辺では湿性環境で見られる種が多く繁茂し、下流側の堤体斜面では定期的に手入れされている乾性の草地が広がっている。

また、池内には平成29年から太陽光パネル6,720枚が設置されており、満水面積の約16%を占めている。

一方、池の西側は北西から南西にかけて約500mの樹林帯が広がっており、池の岸ではなだらかな浅瀬が形成されている。

【保全対象生物】

現地調査により確認された、ツマグロキチョウ、チバコバンゾウムシ、キキョウ、ウンヌケ、ツリガネニンジン

(2) 配慮の方法

キキョウ、ウンヌケ、ツマグロキチョウ及びチバコバンゾウムシの食草であるツリガネニンジンの生育する箇所が工事影響範囲に入る場合は、工事影響範囲外に移植する。

掘削範囲の表土は仮置きし、工事完了後、表土として埋め戻す。

落水時、汚濁防止ネットを設置し、濁水、土砂の流出を防止する。

第 9 章 管理の要領

県営防災ダム事業若王子池地区により造成された土地改良施設は、若王子池水利組合が管理する。

第 10 章 換地計画の概要

該当なし

第 11章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分		事業名	防 災 ダ ム 事 業 (千円)	備 考
事 業 費 (※1)			261,000	
事務的経費 (※2)			16,200	
計			277,200	
関 連 参 考 業		-	-	
		-	-	
		計	-	

(令和7年度単価〔消費税は10%で算出〕：但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第 12 章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年 総 効 果 (便 益) 額 (千円)	年 総 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
	効 果 項 目			
防 災 ダ ム 事 業	維持管理費節減効果	△31	-	
	災害防止効果 (農業関係資産)	50,404	50,404	
	災害防止効果 (一般資産)	240,723	-	
	災害防止効果 (公共資産)	15,742	-	
	計	306,838	50,404	令和7年度単価

(参考)

① 当該事業費	:	223,827 千円
② その他費用	:	235,167 千円
③ 総費用(現在価値化)	:	458,994 千円
④ 年償還額	:	- 千円/年
④' うち、機能向上分	:	- 千円/年
⑤ 年総効果(便益)額	:	306,838 千円/年
⑥ 現況年総農業所得額	:	100,532 千円/年
⑦ 年総増加農業所得額	:	50,404 千円/年
評価期間	:	44 年
割引率	:	0.04
⑧ 総便益額(現在価値化)	:	5,191,262 千円
⑨ 総費用総便益比(⑧÷③)	:	11.31 ≥1.00
⑩ 総所得償還率 (④÷⑥)	:	- % ≤0.2
⑪ 増加所得償還率(④' ÷ ⑦)	:	- % ≤0.4

第 13 章 関連する事業 該当なし

第 14 章 現況・計画平図面

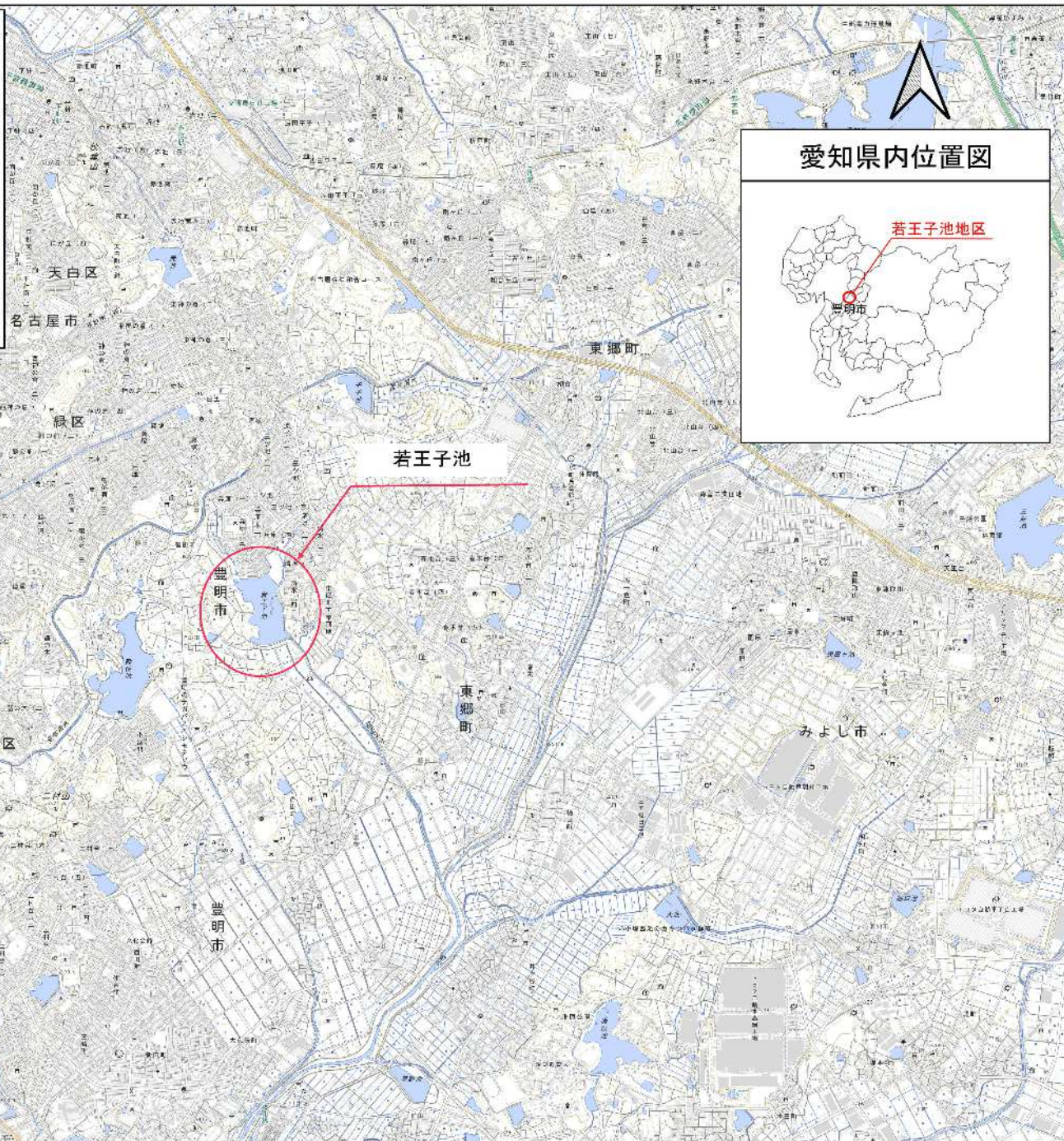
- | | | |
|-----------------|---|---|
| 1. 位置図及び計画概要図 | 別 | 添 |
| 2. 土地利用計画図 | 別 | 添 |
| 3. 計画平面図及び主要構造図 | 別 | 添 |

令和8年度 新規採択希望

防災ダム事業 若王子池地区

所在地：愛知県豊明市沓掛町地内
縮尺 S=1:50,000(A4)

位置図



※地理院タイル(国土地理院)を使用して作成

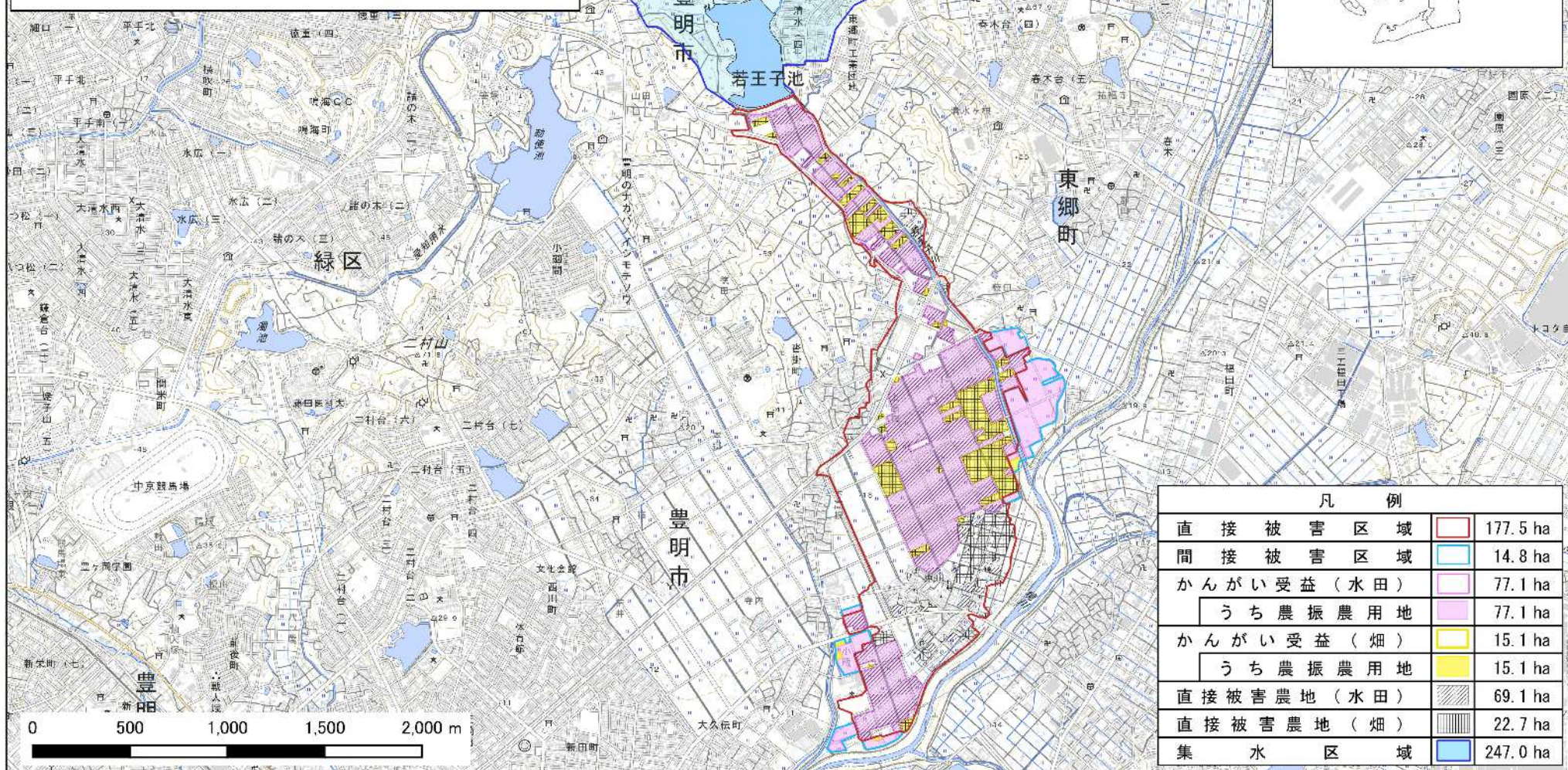
令和8年度 新規採択希望

防災ダム事業 若王子池地区

所在地：愛知県豊明市沓掛町地内

縮尺 S=1:30,000 (A4)

計画概要図



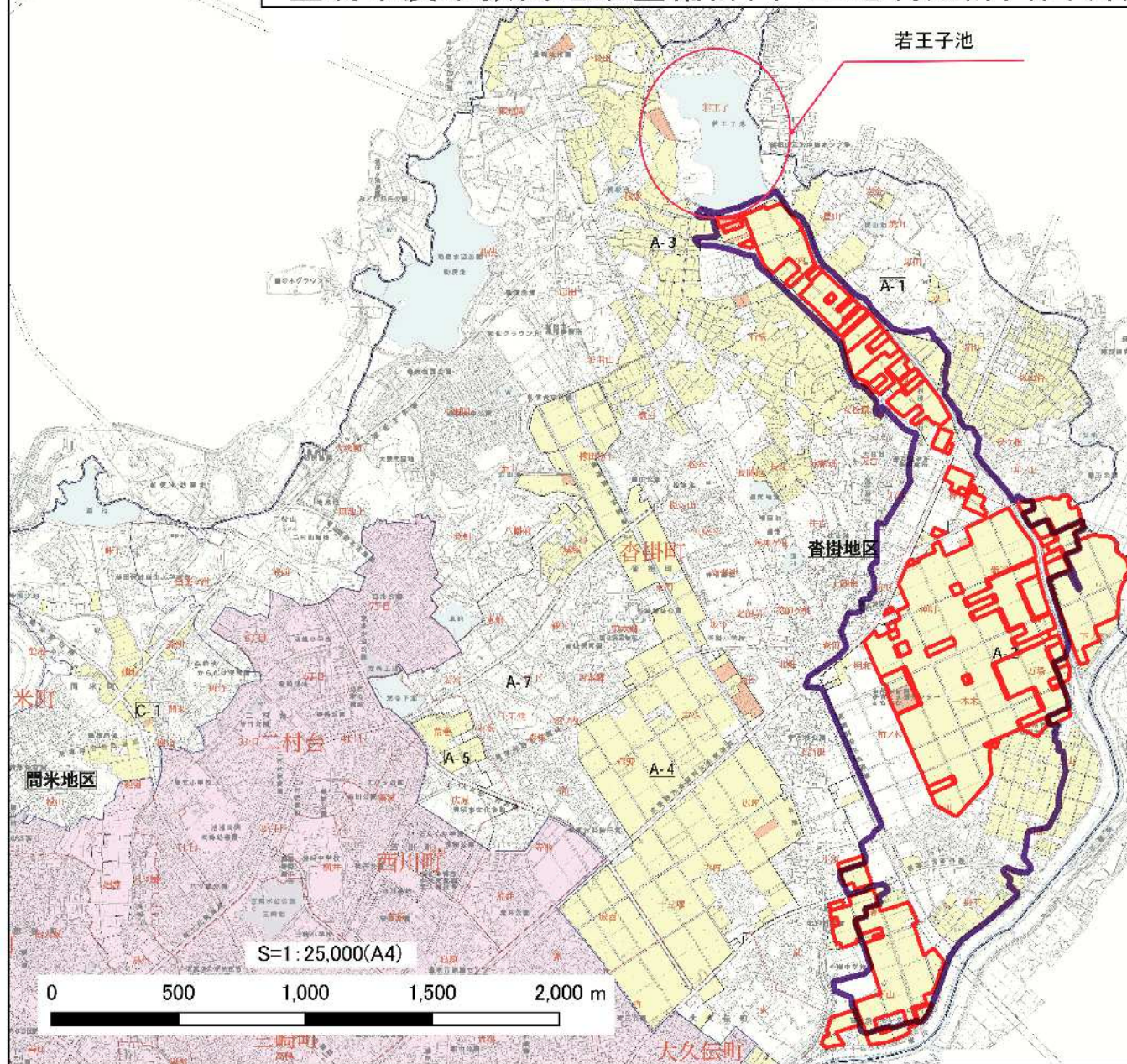
愛知県内位置図



凡 例		
直接被害区域		177.5 ha
間接被害区域		14.8 ha
かんがい受益（水田）		77.1 ha
うち農振農用地		77.1 ha
かんがい受益（畑）		15.1 ha
うち農振農用地		15.1 ha
直接被害農地（水田）		69.1 ha
直接被害農地（畑）		22.7 ha
集水区域		247.0 ha

付図1号

豊明市農業振興地域整備計画 土地利用計画図(若王子池周辺抜粋)



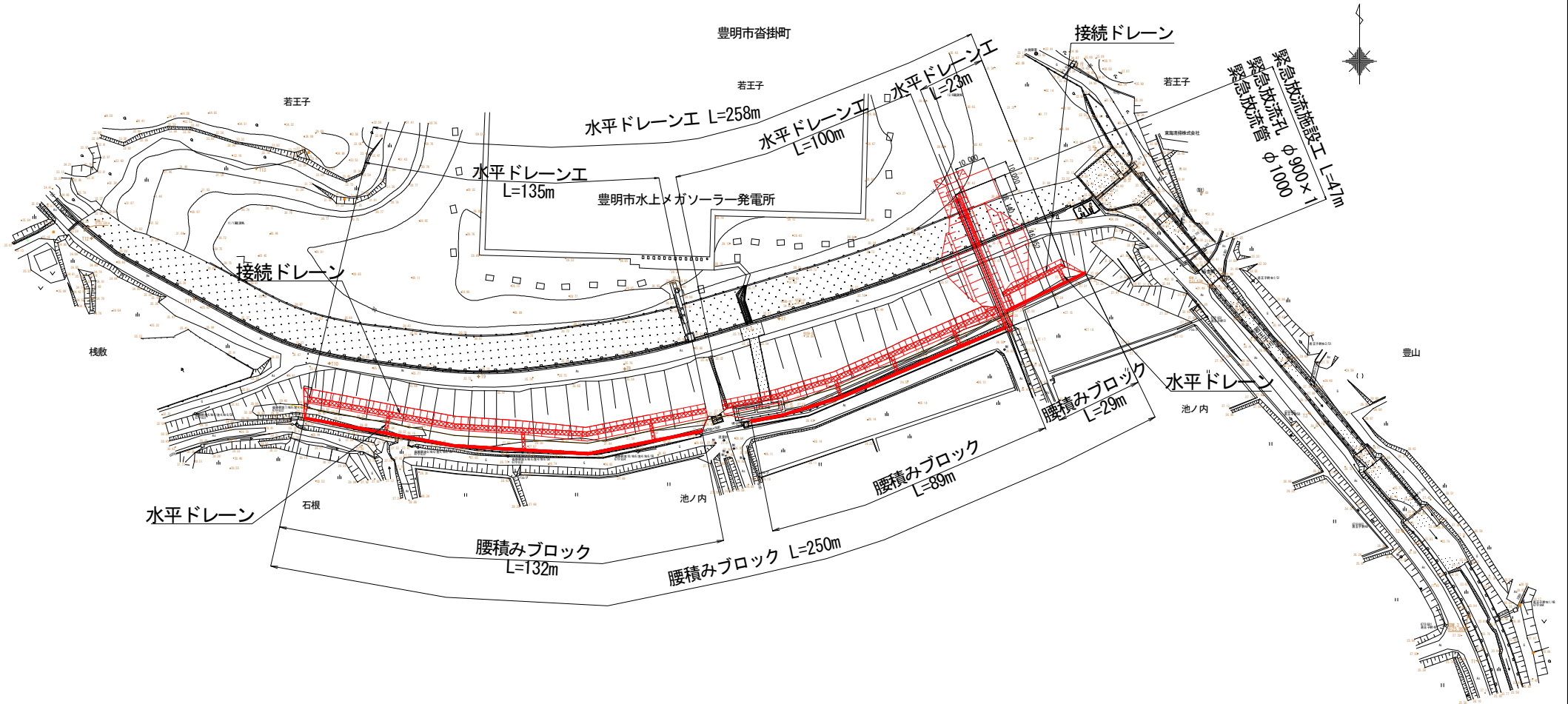
愛知県内位置図



凡	例
	市界
	町界
	農業振興地域界
	農業振興地域地区界
	農用地区区域界
	市街化区域
	農用地区区域
	農業用施設用地
	町界
	字界
	農業振興地域地区名
	農用地区区域名
	直接被害区域
	かんがい受益農地

計画平面図

S=1:650

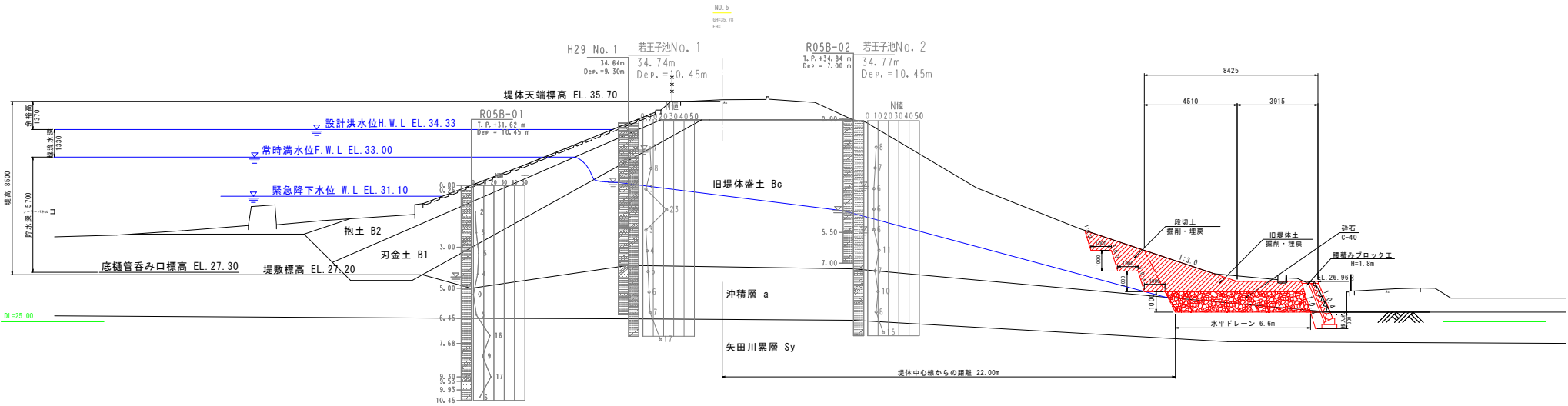


工事名	土地改良施設計画事業 尾張14期地区 若王子池計画策定業務		
図面名	計画平面図		
年月日			
尺 度	S=1:650	図面番号	1 / 1
会社名			
事務所名	尾張農林水産事務所		

堤体工標準断面図

S=1:100

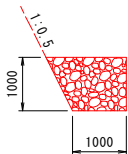
地質年代	地層区分	記号	土質区分	N値	平均N値	透水係数 (m/sec)
既世	刃金土	B1	粘性土	2 ~ 8	5.0	1.94E-08
	抱土	B2	粘性土	~	—	—
	旧堤体盛土	Bc	粘性土	3 ~ 11	5.7	1.36E-06
第四紀	沖積層	a	粘性土	0 ~ 10	5.8	6.40E-08
古第三紀	矢田川累層	Sy	粘性土	6 ~ 17	12.6	3.13E-07



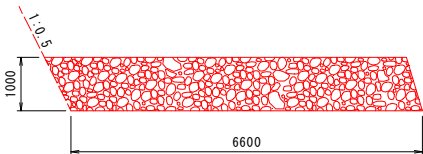
ドレーン詳細図

S=1:50

接続ドレーン

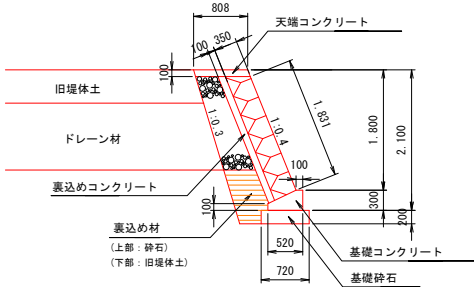


水平ドレーン



腰積みブロック詳細図

S=1:40



工事名	土地改良施設建設費対策事業 尾張14地区 若王子池対策事業		
図面名	堤体標準断面図		
年月日			
尺 度	図 示	図面番号	1 / 1
会社名			
事務所名	尾張農林水産事務所		

S=1:100

[illegible]

Technical drawing showing the layout of a pipe system. The drawing includes dimensions and labels for various components:

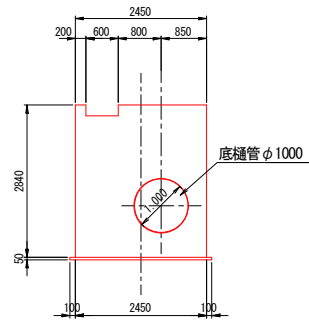
- Dimensions:**
 - Overall length: 17.790
 - Section 1 length: 32#500=16.000
 - Section 2 length: 1.340
 - Section 3 length: 1.400
 - Section 4 length: 1.000
 - Section 5 length: 1.500
 - Section 6 length: 1.800
 - Section 7 length: 2.000
 - Section 8 length: 2.694
 - Section 9 length: 4.500
 - Section 10 length: 2.050
 - Section 11 length: 2.450
 - Section 12 length: 2.000
 - Section 13 length: 2.000
 - Section 14 length: 2.000
 - Section 15 length: 2.000
 - Section 16 length: 2.000
 - Section 17 length: 2.000
 - Section 18 length: 2.000
 - Section 19 length: 2.000
 - Section 20 length: 2.000
 - Section 21 length: 2.000
 - Section 22 length: 2.000
 - Section 23 length: 2.000
 - Section 24 length: 2.000
 - Section 25 length: 2.000
 - Section 26 length: 2.000
 - Section 27 length: 2.000
 - Section 28 length: 2.000
 - Section 29 length: 2.000
 - Section 30 length: 2.000
 - Section 31 length: 2.000
 - Section 32 length: 2.000
 - Section 33 length: 2.000
 - Section 34 length: 2.000
 - Section 35 length: 2.000
 - Section 36 length: 2.000
 - Section 37 length: 2.000
 - Section 38 length: 2.000
 - Section 39 length: 2.000
 - Section 40 length: 2.000
 - Section 41 length: 2.000
 - Section 42 length: 2.000
 - Section 43 length: 2.000
 - Section 44 length: 2.000
 - Section 45 length: 2.000
 - Section 46 length: 2.000
 - Section 47 length: 2.000
 - Section 48 length: 2.000
 - Section 49 length: 2.000
 - Section 50 length: 2.000
 - Section 51 length: 2.000
 - Section 52 length: 2.000
 - Section 53 length: 2.000
 - Section 54 length: 2.000
 - Section 55 length: 2.000
 - Section 56 length: 2.000
 - Section 57 length: 2.000
 - Section 58 length: 2.000
 - Section 59 length: 2.000
 - Section 60 length: 2.000
 - Section 61 length: 2.000
 - Section 62 length: 2.000
 - Section 63 length: 2.000
 - Section 64 length: 2.000
 - Section 65 length: 2.000
 - Section 66 length: 2.000
 - Section 67 length: 2.000
 - Section 68 length: 2.000
 - Section 69 length: 2.000
 - Section 70 length: 2.000
 - Section 71 length: 2.000
 - Section 72 length: 2.000
 - Section 73 length: 2.000
 - Section 74 length: 2.000
 - Section 75 length: 2.000
 - Section 76 length: 2.000
 - Section 77 length: 2.000
 - Section 78 length: 2.000
 - Section 79 length: 2.000
 - Section 80 length: 2.000
 - Section 81 length: 2.000
 - Section 82 length: 2.000
 - Section 83 length: 2.000
 - Section 84 length: 2.000
 - Section 85 length: 2.000
 - Section 86 length: 2.000
 - Section 87 length: 2.000
 - Section 88 length: 2.000
 - Section 89 length: 2.000
 - Section 90 length: 2.000
 - Section 91 length: 2.000
 - Section 92 length: 2.000
 - Section 93 length: 2.000
 - Section 94 length: 2.000
 - Section 95 length: 2.000
 - Section 96 length: 2.000
 - Section 97 length: 2.000
 - Section 98 length: 2.000
 - Section 99 length: 2.000
 - Section 100 length: 2.000
- Labels:**
 - 緊急放流孔 (φ 900)
 - 止水壁
 - NO. 2+2. 800
 - プレキャスト管φ1000 (緊急放流管) 41#1,000+883=41,883
 - 異形管 φ900×1000

工事名	土地改良施設附帯対策事業 尾張14期地区 若王子池計画策定業務		
図面名	緊急放流施設構造図		
年月日			
尺 度	図示	図面番号	1 / 2
会社名			
事務所名	尾張農林水産事務所		

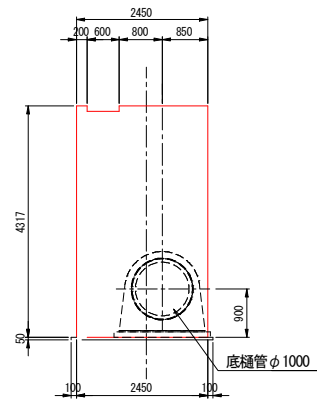
緊急放流施設構造図 (2/2)

S=1:50

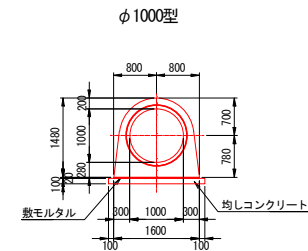
A-A断面



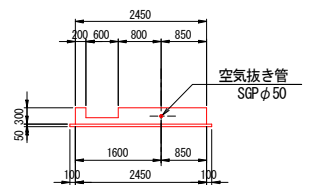
B-B断面



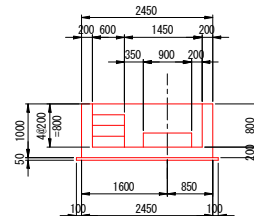
底樋標準断面図
(プレキャスト管)



C-C断面

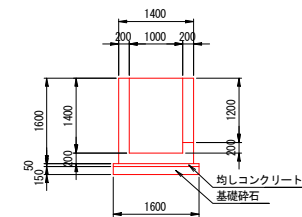


D-D断面

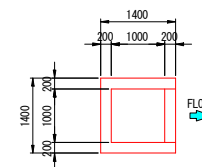


下流端排水樹構造図

側面図



平面図



工事名	土地改良施設耐震対策事業 尾張14期地区 若王子池計画施設事業		
図面名	緊急放流施設構造図		
年月日			
尺 度	S=1:50	図面番号	2 / 2
会社名			
事務所名	尾張農林水産事務所		